

× 不承認 取り替え型/内包型

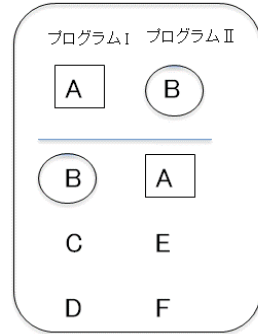
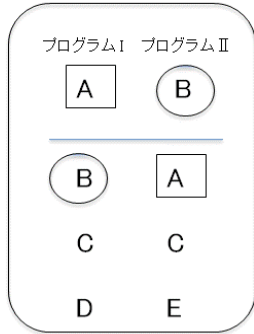
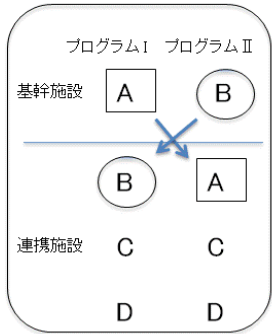
△ 中間型
例外事項で承認する
場合もある

○ 承認 またがり型
(一部領域のカリキュラムを共有し、
それぞれの連携施設が異なる)

(プログラムとII独自性が低い)

(プログラムとIIは独自性に乏しい)

(プログラムとIIに独自性がある)



△ 中間型(取り替え型/内包型)としてプログラムを不承認としない例外事項

- (1) AとBが県をまたいでいる(→広範な地域をカバーするプログラムである)
- (2) AとBが“大学小児科”と“小児総合医療施設”との関係(→それぞれが単独でも研修が可能である)
- (3) 一県からのプログラム申請数が少ない(3つ以内)場合(→地方では専攻医募集窓口が複数あってよい)

図1 プログラムが重なる際の承認基準

× 不承認 内包型

- ・ 病院Aと病院Bがお互いに基幹施設、連携施設の関係にある
- ・ プログラム I (II)の中にプログラム II (I)が内包されている

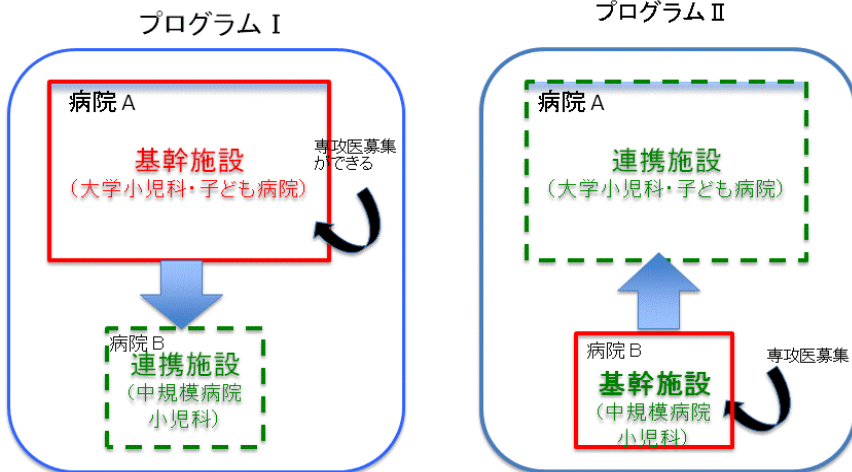


図2 内包型

× 不承認 内体重包型 基幹施設と連携施設が相互にプログラムを立ち上げている

- × プログラム II、IIIはプログラム I のなかに内包されている
- × プログラム I の中には基幹施設が3つ存在する

○ 承認

× プログラム II、IIIは不承認

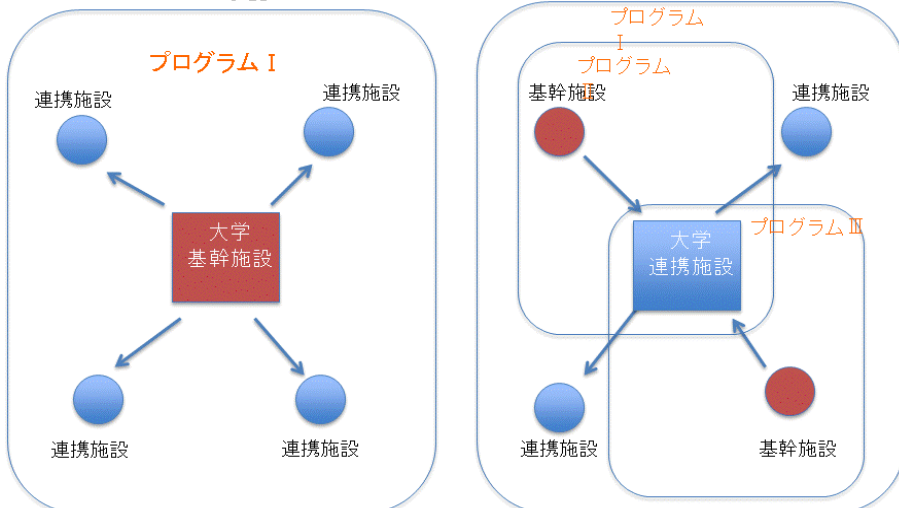


図3 多重内包型